

昭和 23 年（1948 年）

昭和

実施年月日 (告示年月日)	事 項	主な内容等
昭和 23 年（1948 年）		
3 月 10 日	芦田均内閣発足	厚相に、竹田儀一氏就任
3 月 16 日	厚生省人事	厚生事務次官：伊藤謹二→葛西嘉資
5 月 8 日	医薬制度調査会	薬事法案など答申
6 月 4 日	政府	「薬事法案」了承、国会提出：薬事を規整し、適正を図ることが目的、薬事の定義を明記
6 月 10 日	政府	「性病予防法案」「予防接種法案」を了承、国会提出（参院先議）
6 月 15 日	参院厚生委員会	「性病予防法案」修正の上、可決
6 月 19 日	参院厚生委員会	「予防接種法案」可決
6 月 22 日	衆院厚生委員会	「薬事法案」修正の上、可決：薬剤師国家試験の科目等修正
6 月 23 日	参院本会議	「予防接種法案」可決、衆院送付
6 月 24 日	政府	「厚生省官制の一部改正案」提出：薬務局設置、公衆保健局→公衆衛生局
6 月 26 日	政府	「社会保険診療報酬支払基金法案」了承、国会提出
	衆院決算委員会	「厚生省官制の一部改正案」可決
	衆院本会議	「薬事法案」可決、「厚生省官制の一部改正案」可決、参院送付
6 月 28 日	参院決算委員会	「厚生省官制の一部改正案」可決
	参院厚生委員会	「社会保険診療報酬支払基金法案」付託、可決
	参院本会議	「性病予防法案」可決、衆院送付
	衆院厚生委員会・本会議	「予防接種法案」可決、成立、6 月 30 日公布、7 月 1 日施行
6 月 29 日	参院厚生委員会	「薬事法案」可決
6 月 30 日	参院本会議	「厚生省官制の一部改正案」可決、成立、7 月 15 日公布、施行 「薬事法案」可決、成立、7 月 29 日公布、施行：医薬部外品等取締法廃止
	参院本会議	「社会保険診療報酬支払基金法案」可決、衆院送付
7 月 1 日	厚生省	「予防接種法」施行：種痘、腸チフス、パラチフス、ジフテリア、百日咳、結核、発疹チフス、コレラ、ペスト、猩紅熱、ウイルス病、インフルエンザの予防接種を国民に義務づけ
7 月 3 日	衆院厚生委員会・本会議	「社会保険診療報酬支払基金法案」可決、成立、7 月 10 日公布 「性病予防法」可決、成立、7 月 15 日公布
7 月 15 日	厚生省組織改編・人事	薬務局設置： 薬務課長：星野 毅子郎 製薬課長：慶松 一郎 療品課長：中村 光三 資材課長：慶松 一郎（兼務） 審査課長：金井 進 麻薬課長：里見 卓郎 医務局、予防局、公衆衛生局（公衆保健局改称）設置 公衆衛生局長：三木 行治
7 月 29 日	厚生省	薬事法公布、施行：医薬品製造業の登録、薬事監視員制度の採用、薬事委員会の設置など 「医薬品」とは、①公定書（薬局方、医薬品集又はこれらの追補）、②人又は動物の疾病の診断、治ゆ、軽減、処置又は予防に使用することが目的とされるもの、③人又は動物の身体の弘造機能に影響を与えることが目的とされるもの—等と定義
7 月 31 日	厚生省人事	薬務局長：慶松 一郎 薬務局製薬課長：一丁田 健一
8 月 18 日	厚生省人事	薬務局： 資材課長：森 喜一
9 月 21 日	厚生省	「第 1 版国民医薬品集」公布
10 月 15 日	第 2 次吉田茂内閣発足	吉田首相が厚相兼務

実施年月日 (告示年月日)	事項	主な内容等
平成元年（1989年）		
1月8日	1989年（平成元年）	
1月11日	厚生省薬務局	「医薬品副作用被害救済・研究振興基金法の一部を改正する法律の施行について」企画課長通知（薬企第1号）
1月17日	厚生省	※エイズ予防法公布：平成10年10月2日の「感染症法」制定により、平成11年4月1日エイズ予防法廃止
1月18日	中医協全員懇談会	診療報酬、薬価基準に関する消費税転嫁分等を協議、意見書とりまとめ
	厚生・大蔵省 (事務折衝)	医薬品等の流通段階での消費税を末端まで円滑に転嫁するため、薬価基準平均2.7%（医療費ベース0.72%）、診療報酬0.11%引き上げ、材料0.12%で合意：実質1か月分の在庫を差し引いた改定率
1月19日	厚生省保険局	「ミドリ十字の販売した放射性医薬品の振替請求に係る保険医療機関等の行政処分（措置）等に関する報告について」医療課長通知（保険発第1号）
2月17日	厚生省	後天免疫不全症候群（エイズ）予防法施行
2月27日	中医協総会	消費税（3%）導入に伴う診療報酬改定等諮問、答申
3月1日	「薬価基準の一部改定（追補）等」告示・適用 (厚生省告示第18号)	製薬企業の合併による製造承認承継に伴う新名称の追補収載22銘柄（内用20、外用2）
	「使用医薬品の一部改定」告示・適用 (厚生省告示第19号)	旧名称の経過措置品目への移行22銘柄（内用20、外用2）
	「使用医薬品の一部改定」告示・適用 (厚生省告示第19号)	「薬価基準の一部改正等について」保険局長通知（保発第8号）
	厚生省薬務局	「医薬品再評価が終了した医療用医薬品の取扱いについて」監視指導課長通知（薬監第13号）
3月7日	厚生省保険局	「医薬品再評価の終了した医薬品の取扱いについて」医療課長通知（保険発第14号）
3月16日	厚生省	全国国立病院長会議：国立病院の院外処方せんを3年間で30%にするよう指示
3月18日	「診療報酬改定」告示 (厚生省告示第34号)	4月1日施行 「診療報酬点数表及び薬価基準の改正について」保険局長通知（保発第15号）
	「薬価基準改定」告示 (厚生省告示第35号)	
	「薬価基準改定」告示 (厚生省告示第35号)	「使用薬剤の購入価格（薬価基準）の全面改正に伴う実施上の留意事項について」保険局医療課長通知（保険発第20号）
3月24日	厚生省	医薬分業指導者協議会：国立病院を対象に院外処方せん発行促進の指導を強調
3月31日	「新使用医薬品」告示 (厚生省告示第86号)	4月1日適用 「保険医及び保険薬剤師の使用医薬品の全面改正について」保険局長通知（保発第28号）
4月1日	「診療報酬改定」施行	消費税（3%）導入に伴う改定：平均0.11%引き上げ
4月1日 (3月18日)	「薬価基準改定」適用	消費税（3%）導入に伴う全面改定 薬価ベース2.4%引き上げ（医療費ベース0.65%） 収載13713銘柄（内用9042、注射2958、外用1605、歯科108） ※①昭和63年4月の薬価改正における値下げ品目：2.1%～2.4%程度の引上げ ②同薬価改正における値上げ品目：2.7%程度の引上げ③同薬価改正における据置き品目：2.4%～2.7%程度の引上げ
4月1日 (3月31日)	「新使用医薬品」適用	薬価基準からの削除依頼があった品目の削除233銘柄、経過措置品目の期限の延長619銘柄（平成2年3月31日：内用166、注射512、外用13、歯科3）
4月14日	「薬価基準の一部改定（追補）」告示・適用 (厚生省告示第91号)	新薬の追補収載16銘柄（内用10、注射2、外用4）、血管拡張剤：ニトログームTTS、抗精神病剤等 ※平成元年1月17日承認

令和元年（2019年）

実施年月日 (告示年月日)	事項	主な内容等
令和元年（2019年）		
5月1日	「掲示事項等の改定」適用	在宅自己注射の対象薬剤の追加：「ヒドロモルフォン塩酸塩」「デュピルマブ（遺伝子組換え）製剤」を追加
5月9日	厚労省医薬・生活衛生局	「『使用上の注意』の改訂について」医薬安全対策課長通知（薬生安発0509第3号）：その他のホルモン剤：デュラグルチド（遺伝子組換え）など
5月15日	中医協総会	がんCART療法用細胞加工製品「キムリア点滴静注」（白血病治療薬）の薬価収載了承：薬価は過去最高額3349万3407円
5月17日	厚労省医薬・生活衛生局	「医薬品の『使用上の注意』の改訂及び安全性速報の配布等について」医薬安全対策課長通知（薬生安発0517第1号）：抗悪性腫瘍剤「ページニオ錠」
5月21日	「薬価基準の一部改定（追補）等」告示（厚労省告示第7号）	5月22日適用 「使用薬剤の薬価（薬価基準）の一部改正等について」医療課長通知（保医発0521第4号）
	厚労省保険局	「チサゲンレクルユーセル製剤（キムリア点滴静注）に係る最適使用推進ガイドラインの策定に伴う留意事項について」医療課長通知（保医発0521第5号）
5月22日 (5月21日)	「薬価基準の一部改定（追補）等」適用	新薬の追補〔内用7、注射9（再生医療等製品1品目含む）、外用2〕：白血病治療薬キムリア点滴静注など 新薬の14日投与制限対象外4品目（「ロソーゼット配合錠LD」「同配合錠HD」「テリルジー100エリプタ14吸入用」「同30吸入用」） オプジーボの薬価再算定（8月1日適用）
5月22日	厚労省保険局	「アクテムラ点滴静注用80mg、同200mg及び同400mgの医薬品医療機器等法上の効能・効果等の変更に伴う留意事項の一部改正について」医療課長通知（保医発0522第1号）
	厚労省保険局	「公知申請に係る事前評価が終了し、医薬品医療機器等法に基づく承認事項の一部変更承認がなされた医薬品の保険上の取扱いについて」医療課長通知（保医発0522第2号）、1成分4品目：カンデサルタン シレキセチル
5月28日	「薬価基準一部改定等」告示（厚労省告示第16号）	5月29日適用 「使用薬剤の薬価（薬価基準）の一部改正等について」医療課長通知（保医発0528第1号）
5月29日	中医協薬価専門部会	次期薬価制度改革の検討スケジュールを了承
5月29日 (5月28日)	「薬価基準の一部改定」適用	薬事・食品衛生審議会報告品目・新キット製品追補14品目（内用2、注射11、外用1）：ゴナックス皮下注、イノラス配合経腸用液など
5月31日	厚労省保険局	「『使用薬剤の薬価（薬価基準）の一部改正等について』の一部訂正について」保険局医療課（事務連絡）
6月4日	厚労省医薬・生活衛生局	「『使用上の注意』について」医薬安全対策課長通知（薬生安発0604第1号）：血管収縮剤エレトリプタン臭化水素酸塩など
	厚労省保険局	「『使用薬剤の薬価（薬価基準）の一部改正等について』の一部訂正について」保険局医療課（事務連絡）
6月5日	厚労省医薬・食品衛生局	「新薬等の再審査結果 令和元年度（その1）について」医薬品審査管理課長通知（薬生薬審発0605第1号）：7品目の医薬品等の再審査結果
6月6日	厚労省医薬・食品衛生局	「ベムプロリズマブ（遺伝子組換え）製剤の最適使用推進ガイドライン〔非小細胞肺癌、悪性黒色腫、古典的ホジキンリンパ腫、尿路上皮癌及び高頻度マイクロサテライト不安定性（MSI-High）を有する固形癌〕の一部改正について」医薬品審査管理課長通知（薬生薬審発0606第5号）
6月13日	「薬価基準の一部改定（追補）、掲示事項等の一部改定」告示（厚労省告示第32号）	6月14日適用 「使用薬剤の薬価（薬価基準）の一部改正等について」医療課長通知（保医発0613第1号）
6月14日 (6月13日)	「薬価基準の一部改定（追補）」適用	後発医薬品の追補収載264品目（内用181、注射30、外用53） 製造販売の承継に伴う新名称品目の追補収載（内用2）
	「掲示事項等の一部改定」適用	薬価基準からの削除依頼があった品目の経過措置品目への移行142品目（内用79、注射18、外用45、使用期限・令和2年3月31日）
6月14日	厚労省「高齢者医薬品適正使用検討会」	「高齢者の医薬品適正使用の指針〔各論編（療養環境別）〕について」とりまとめ